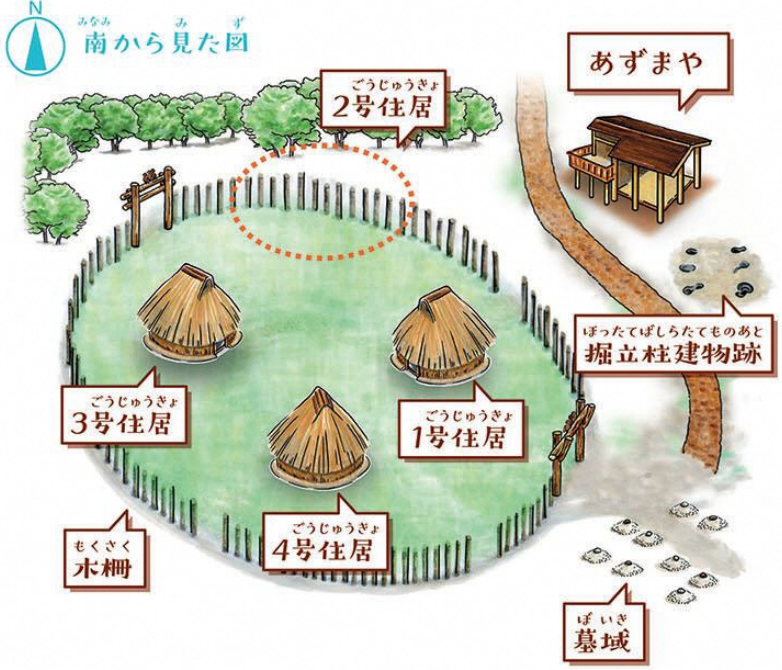


いせき しょうかい 遺跡の紹介

地蔵田遺跡は、旧石器・縄文・弥生時代の複合遺跡で、昭和60年に秋田市教育委員会が発掘調査を行いました。全国で初めて木柵で囲まれた弥生時代前期(約2,200年前)の集落が発見され、たいへん貴重であることから、平成8年11月6日に約6,046㎡が国の史跡に指定されました。



やよい むら 弥生っこの村のようす



ご利用案内

所在地 秋田市御所野地蔵田三丁目 御所野総合公園内

弥生っこの村

開村時間【平 日】午前9時～午後5時
【土日祝】午前10時～午後4時
(11月は午後3時まで)

観覧料 無料

休村期間 12月1日～3月31日

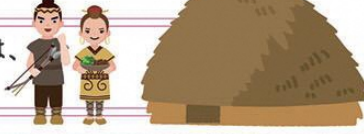
出土品展示施設

開館時間 午前9時～午後5時

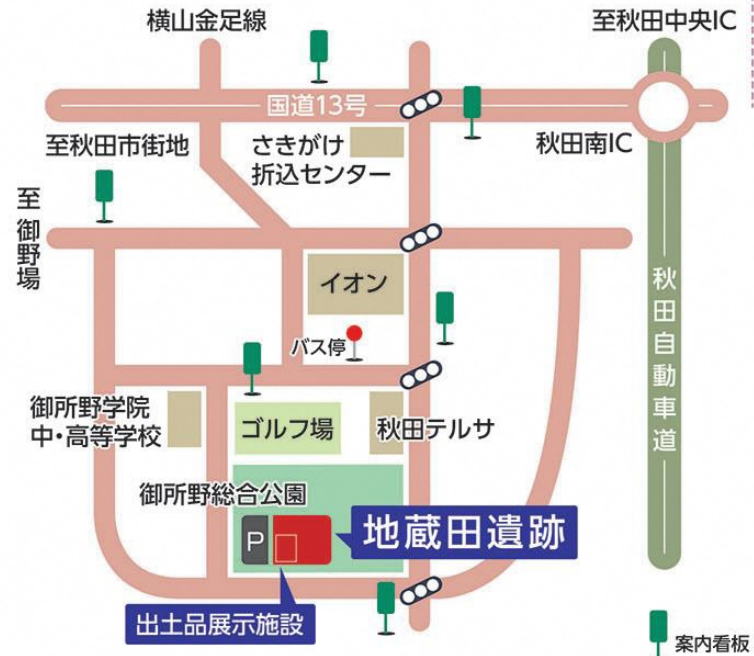
観覧料 無料

休館期間 12月1日～3月31日

ボランティアガイドを希望される方は、文化振興課へご連絡下さい。



周辺案内図



アクセス

自動車

秋田自動車道秋田南ICから約5分
秋田駅から約20分
秋田空港から約15分

バス

イオンモール秋田下車徒歩約5分

お問い合わせ

弥生っこの村や村民会について・ガイドのお申し込みなど

秋田市観光文化スポーツ部文化振興課
〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号
TEL.018-888-5607 FAX.018-888-5608
<https://www.city.akita.lg.jp/kanko/kanrenshisetsu/1002684/index.html>



国指定史跡 地蔵田遺跡

御所野 弥生っこの村



秋田市

しゅつど 出土したもの

墓域から出土した土器棺は、北九州で出土した土器の影響を受けた遠賀川系土器と、同じような形で縄文がつけられた在り(地蔵田遺跡あたりでつくられた)の土器がありました。



遠賀川系土器



在地の土器



籾のあと



土偶

儀式に使ったと考えられる土偶や、お米の籾のあとがついた土器のかけらがありました。

水柵



水柵後



復元された水柵約700本

水柵は集落ができたころに造られたもので、1周約170mあります。集落の玄関と墓域への道にあたる出入口2ヶ所と、各竪穴住居の勝手口にあたる小さな出入口3ヶ所がありました。

その後、ムラが大きくなるとともに、水柵は取り払われていたことが分かっています。

たてあなじゅうきょ 竪穴住居



3号竪穴住居跡



復元された3号竪穴住居

竪穴住居は全部で4軒発見されました。そのうちの1軒は、ムラができて少し時間が経ち、水柵が無くなってから建てられたものです。壁がある「壁立式」の竪穴住居で、それぞれ2～6回の建て替えが行われ、少しずつ広がっていったことが分かっています。

墓域



土器棺墓

25基の土器棺墓と、51基の土器墓が発見され、集落から続く墓道が通っていました。

土器棺墓は子どものお墓、土器墓は大人のお墓と考えられています。中には副葬品の勾玉や管玉が出土した土器墓もありました。

しゅつどひんてんじしせつ 出土品展示施設



地蔵田遺跡の発掘調査で出土した土器や石器を展示し、パネルや映像などで、遺跡を分かりやすく紹介しています。また、年に1回企画展も開催しています。

やよいじだい 弥生時代のこと

弥生時代は北部九州にコメ作りの方法が伝わったことをきっかけにはじまったと考えられています。弥生時代の前は縄文時代といってムラをつくり、植物を集めたり、動物を狩ったりして生活をしていました。弥生時代の初めにそうした生活にコメ作りが取り入れられ、九州から東北地方まで広がりました。



東北地方では青森県や宮城県で弥生時代の水田の跡が見つっていますが、秋田県では今のところ発見されていません。また、縄文土器から大きく変わっていない弥生土器や祭りの道具が見つかる一方で、金属器はほとんど見つからず、弥生時代の中心だった西日本とはかなり違った生活がありました。一方、同じ時代の北海道ではコメ作りが受け入れられず、山や海で

動物や魚を取る生活が続けられていました。

このように、地域によって違った文化が見られたのが弥生時代であったと言えます。



やがて西日本では、大きなムラが小さなムラをまとめるようになり、リーダーとされる人の巨大なお墓が作られるようになります。しかし、北日本では大きなムラが作られることはなく、人々は小さなムラに分かれて生活することを選んだようです。コメ作りも西日本ほど盛んには行われませんでした。

